

【新型コロナウイルスに打ち勝つために】

日本赤十字社が発表している「3つの感染症」より抜粋

第1の感染症 『病気そのもの』

このウイルスは、感染者との接触で感染することがわかっています。感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

第2の感染症 『不安と恐れ』

このウイルスは見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。その不安は私たちの心の中でふくらみ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。

第3の感染症 『嫌悪・偏見・差別』

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。見えない敵（ウイルス）への不安から特定の

人・地域・職業などに対して「危険」「ばい菌」といったレッテルを貼る心理によって差別や偏見がおこります。そして差別を受けることが怖くて、熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招くこともあります。

【そうならないための対策があります】

■衛生行動の徹底

→正しい手洗い・うがいを徹底的に行いましょう！

■冷静な判断を心がける

→間違った情報などに踊らされないで！

■差別的な言動に同調しない

→常に人権に配慮し偏見や差別は決して行わない！

新型コロナウイルスとの戦いは長期戦になるかもしれません。感染を拡大させないためにそれぞれの立場で出来ることを行い、お互いに頑張っている方々をねぎらい、敬意を払い、みんなで力を合わせましょう！

町内飲食店を応援しよう 『美味しい』を手軽に、身近に。

新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛などの影響で、売上が激減する飲食店が増加しています。

その厳しい状況の中、『頑張つて乗り越えていこう』とお弁当を職場や自宅に持ち帰り食べられる『テイクアウト』を始める取組みが町内飲食店で広がっています。

そこで本町では、大崎町飲食店応援プロジェクトと題して、500円の応援クーポン券を付けた『皆さまのいただきます』が配布されています。『持ち帰り店舗』を作成した応援チラシは町内全てのポストにある世帯に配布しています。

クーポン券の使用期限は、5月末までとなっております。あと半月ほどで期限を迎えます。この機会にまだ利用しなかったお店や気になつていたお店など、町内飲食店の利用にお役立てください。あなたのいただきますを応援に変えましょう！

町内で飲食店を営む方にお話しを伺いました

私のお店では、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、営業時間を短縮し、テイクアウト（持ち帰り）を始めました。売上が下がり苦しいところではありますが、飲食店に限らず、様々な業種の方に新型コロナウイルスの影響が出ていると思います。お互いに様々な工夫や取組みを行いながら、この難局を乗り越えていけたらと思っています。

このようなチラシを配布しています！使わないともったいない！

